

神戸市社会福祉協議会 福祉の情報誌

きずな KOBÉ



第5号

TAKE FREE

November.2013



特集
未来を担う若い力
地域に広がる
“福祉の心”

美味しい!かわいい! 福祉のお店

コーヒーハウス YUME / shop 小春日和

会いたかった Yes! この人

平松二三代さん(ひつじ書房)

季節の人気メニュー

芋もち

催し・イベント情報ほか

読者アンケート & プレゼント

高倉台児童館・子どもヘルパーの石本光稀くん、岡本奈々さん(いずれも高倉台小学校4年生)と、加古雅子さん 撮影/井川宏之

未来を担う若い力 地域に広がる“福祉の心”

体験して 育んでほしい 思いやりの気持ち

核家族化、少子高齢化が進むにともない、人と人とのつながりが薄くなり“無縁社会”という言葉聞く機会も増えてきました。そんな中、人と人との絆を深め、子どもたちに思いやりの気持ちを育ててもらおうという取り組みが市内各所で行われています。



世代をつなぎ 絆を深める「ふれあい子ども喫茶・すまいる」 兵庫区 夢野北地区 夢野ハイタウン

■持ち回りで子ども店長に

「オレンジジュースとリンゴジュースですね。パンケーキもいかがですか？」。

毎月第2火曜日の午後、夢野ハイタウンの集会所から明るい声が響いてきます。ここは、「ふれあい子ども喫茶・すまいる」。4年前の秋に地域の人々の交流の場としてオープンしました。

ボランティアとともに、てきぱきと動いているのは、放課後ここに集まってくる子どもたち。持ち回りで「子ども店長」となり、注文を受けたり、飲み物を運んだり。空いている席で宿題をしている子、お年寄りと話をしている子もいます。

■お年寄りを気づかう心も

「文科省からの委託で設置された“子ども広場”が閉鎖になったとき、子どもたちから『みんなが集まれる喫茶店だけでも続けて』という声があがり、友愛訪問グループ、民生委員、地域と一緒に開店させました」と話すのは、夢野北地区 民生委員児童委員協議会会長の黒瀬晴世さん。

子どもが気軽に来られるお店に…という思いから、メニューは、ジュース50円、パンケーキ50円、コーヒー・紅茶100円、という安さです。

お客さんの多くは、地域のお年寄り。月に一度の喫茶店を楽しみにしている一人暮らしの人もたくさんいるそうです。

「子どもたちは、ここで地域の人々と顔見知りになり、あいさつをするようになったり、お年寄りを気づかうようになったり…と成長を見せてくれています。言動が気になるお年寄りを心配した子どもからの連絡で、要支援者の発見と早期対応につながったこともあるんですよ」と黒瀬さん。

当初は交流の場だけと考えていたのが、地域のよろず相談や高齢者の外出支援、要保護支援者の発見にもつながっているようです。

この活動を始めて、子どもたちの成長が町の活力になっていることに気づいたと言う黒瀬さん。「子どもはみんなの宝物。これからも気負わず、この活動を続けていきます」と話します。

3月にはひなまつり、7月には七夕、12月にはクリスマスライブと、季節のイベントも開催しています。



地域の子どもと大人が協力して喫茶店の運営をしています



子どもたちが学校から帰ってきて、話に花が咲きます



今月の売り上げは？



パンケーキ(50円)とドリップコーヒー(100円)



人の役に立つ喜びを体験「子どもヘルパー活動」須磨区 高倉台児童館

■思いやりの心を育む活動

お年寄りの手をとり席に誘導したり、車いすを押したり、90歳以上の人に記念品を手渡す小学生たち。かわいいダンスや合奏も披露しました。

これは、9月15日、高倉台小学校の体育館で開かれた敬老会の一コマです。

子どもヘルパー活動は、地域の子もたちが、楽しみながら思いやりの心を育み、生活の知恵を学び、人の役に立つ喜びを体験できるようにとスタートしました。

■子どもたちの元気が地域の活力に

19年度に実施した『地域で子育て元気アップ事業』を、地域に根差した取り組みへ発展させようと、高倉台ふれあいのまちづくり協議会、高倉台婦人会、高倉台児童館、須磨区社会福祉協議会が協働で始めた子どもヘルパー活動。

「高倉台児童館に在籍している放課後児童クラブの子もたちを中心に構成し、敬老会、梅見の会、一人暮らしの高齢者対象の給食サービス、街頭募金活動など地



地域のさまざまなイベントで大活躍

域から依頼があれば、保護者の方々にも周知し、出動しています」と話すのは、館長の山下弘嗣さん。行事の前には、館内で子どもたちが、プレゼントづくりやダンス、合奏の練習をする姿が見られるそうです。地域の人々からの「よく頑張っているね」「プレゼントのうちわを毎日使っているよ」などの感謝や励ましの声は、子どもたちの喜びや励みになっているようです。「子どもヘルパーの元気な声と笑顔が、地域の人たち、特にお年寄りの方々には心の支えになっていると思います。子どもたちにも、地域の人々に見守られているという安心感があるのではないしょうか」と話すのは、高倉台婦人会長の玉森たりほさん。

お年寄り、障がいのある人、子ども、すべての住民が住み慣れた地域で、互いに支えあい、安心して暮らせる「地域共生ケア」の一環として行われているこの活動。人と人との絆や地域のつながりを深める活力となっています。



共同募金の活動のお手伝いも



「お席にどうぞ」お年寄りの手を取り誘導します



福祉施設のみなさんと楽しくクラフト体験 親子福祉体験事業 (ファミリーボランティア)

■こべっこランドで親子で挑戦

押し花のバッグやクリアファイル、色鮮やかな記念切手(使用済み)をあしらったしおり、連続発射ができるゴム鉄砲…。

ファミリーボランティアは、小さなお子さんとその保護者が、神戸市内の障がい者福祉施設の人々と一緒にオリジナルクラフトをつくりながら、お互いの理解を深めようという催し。神戸市社会福祉協議会が主催し毎年開催しています。

■楽しみながら、関心や理解を

今年度は9月28日にこべっこランド(神戸市総合児童センター 中央区東川崎町1)で行われ、約200人が参加。子どもたちは製品ごとに3つのグループに分かれ、施設の人々や利用者に教えてもらいながら、クラフト体験に挑戦しました。

「押し花ファイル」のコーナーでは、施設で育てて押し花に加工した色とりどりの花びらをファイルや透明バッグにデザイン。

「古切手しおり」は、台紙に好きな古切手を貼り、ペンや色紙でデザインをし、ラミネート加工。

「ゴム鉄砲」は、キットになっている木の鉄砲を組み立ててネジで留めれば完成。さっそく、遊んでいる子どもたちの姿が多く見られました。

参加者からは「施設の人が親切に教えてくれてうれしかった」「自宅近くに施設があることを初めて知り、身近に感じた」などの声。

施設のスタッフからは「施設を紹介する機会がもててよかった」「普段の作業を、違う場所で、みなさんと一緒にできて新鮮でした」との声が寄せられました。



ゴム鉄砲づくりに挑戦



親子で楽しくクラフト体験

特集 未来を担う若い力 地域に広がる“福祉の心”

神戸市社会福祉協議会では、市内の中学・高校生たちに福祉活動への理解を深めてもらうため、福祉施設での体験プログラムを用意しています。その中から2つを紹介しましょう。

夏休みの3日間、中・高校生が施設で福祉活動を体験 ワークキャンプ

「教室で学ぶ知識だけではなく、福祉の現場で自らの体験を通して理解を深めてもらいたい」。そんな思いで平成元年にスタートしたワークキャンプ（福祉体験学習）。これまでに約4万1000人も生徒が参加しています。対象は、中1から高3までの生徒。学校を通じて申し込み、夏休み中の3日間、自ら希望する施設に通い、施設の人々と交流するというもの。

トライやるウィークが、授業の一環として参加が義務づけられているのに対し、ワークキャンプは、自主的に参加する活動。通う施設が、福祉の現場に限られていることも大きな特徴です。



ワークキャンプを通して、お年寄りへの思いやりの気持ちが深くなります（北区・北在宅福祉センター）



障がいのある人たちとともに作業を体験（長田区・ワークフレンズみくら作業所）



笑顔で子どもたちに接します（西区・美賀多保育園）



感想文集「温かい手」



小池裕さん

参加者からは「障がいのある人への偏見や誤解がなくなりました」「お年寄りを思いやる気持ちが強くなりました」などの声が寄せられています。保育士志望の女生徒からは「保育園で、子どもたちと直接ふれあい、決意が固まりました。絶対に保育士になります」と喜びの声も。

このプログラムには、毎年1000人以上の学生が参加。受け入れ施設も当初16施設（平成元年）だったのが、今では328施設（24年）に増加。各施設の子どもたちやお年寄りも学生たちが訪ねてくることを楽しみにしているそうです。

「ワークキャンプで、思いやりの心、福祉の心を育て、福祉施設への就職やボランティア活動参加へのきっかけになればうれしいですね。子どもたちだけでなく、あらゆる人々の福祉社会への理解と行動につながっていくための道筋になれば」と小池裕広報交流部長。生徒たちが3日間で得た貴重な体験は、感想文集「温かい手」に毎年まとめられています。

高校生に介護体験を 高校生介護体験等 特別事業

神戸市社会福祉協議会では、介護体験を通して、福祉への理解を深めてもらうことを目的に、市内の福祉施設の協力のもと、高校生の介護体験事業を実施しています。平成25年度からは、神戸市立六甲アイランド高校が指定校に。コミュニケーション能力の開発と実践的な支援を目指して、障がい児を対象としたフレンドシップキャンプに参加しています。



車いすでの階段の昇降を体験する須磨翔風高等学校の生徒たち

神戸⇄関空 高速船 ～片道約30分 ベイ・シャトル～

駐車場
神戸側専用駐車場が
旅行期間中
無料!!
片道乗船でもOK

欠航時
ご予約のお客様へ
事前に連絡
代替バス安心
を運行しているの、
所要時間約90分

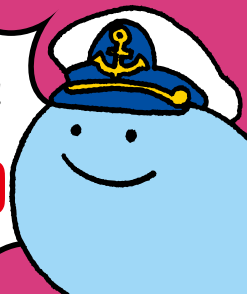
のりかえなし
連絡バスは、第1ターミナル経由で
第2ターミナル
まで運行
神戸側からの乗船時のみ

早朝・深夜便
が増便!!

神戸発【早朝】**5:30** 発
関空発【深夜】**0:00** 発

期間限定
2014年
3月31日まで
さらに便利に
おトクに!

おトクな
往復割引!!
通常大人往復運賃
¥3,600
¥3,000
(小児¥1,500)



【ご予約・お問い合わせ 年中無休 9:00～18:00】

ベイ・シャトル予約センター ☎078-304-0033

パソコン・携帯はWEB予約24時間受付中

ベイ・シャトル

検索

会いたかったこの人

子どもたちを 本の世界に誘う案内人
読みたい本が見つかりそうな 本屋さん

戦後、通い続けた大倉山の図書館

JR 摂津本山駅すぐ近くの「ひつじ書房」。物語に出てくるようなドアを入ると、絵本や童話、小説、写真集、図鑑など選び抜かれた7000冊の本が、出迎えてくれます。小ぢんまりとした店内は、子どもはもちろん、大人にとっても心やすらぐ空間。“読んでみたい”と思える本と出合えそうな予感がします。

店主の平松二三代さんは、戦火の中で少女時代を過ごしました。読みたい本はなかなか手に入らず、身近にあった本を繰り返し読んでいたそうです。

戦後しばらくして病院の事務員に。その頃の楽しみは、仕事帰りに、大倉山の図書館に通い、本を借りること。戦火を逃れた図書館には、たくさんの本が並び、新時代に希望を抱く多くの市民が訪れていました。



店内には「読みたい」と思える本がいっぱい

「ある日、図書館で職員募集の張り紙を見つけたんです。病院を辞めてすぐに応募。運よく採用され児童室の担当

になりました」。働きながら神戸大学へ通い、図書館司書の資格を取得。以来、個人で研修に参加し、学び、本を選ぶ目を養い「子どもが“読んでよかった”“もっと読みたい”と思うような本を紹介してきました」。



児童図書専門店「ひつじ書房」経営 **平松 二三代さん**
ひらまつ ふみよ

1931年、中国・大連生まれ。神戸市立図書館の司書として35年間勤務。1975年、夫の早期退職を機に児童図書専門店「ひつじ書房」を開店。東灘区在住。81歳。

になりました」。

働きながら神戸大学へ通い、図書館司書の資格を取得。以来、個人で研修に参加し、学び、本を選ぶ目を養い「子どもが“読んでよかった”“もっと読みたい”と思うような本を紹介してきました」。

数十年経って、道で突然『あっ、図書館のおばちゃん』と中年男性に声をかけられることも。「昔は娯楽が少なかったからでしょうね。大勢の子どもが毎日、図書館を訪ね、本を読み、想像をふくらませ、楽しい時間を過ごしていました」。

夫とつくりあげた理想の書店

図書館で知り合ったご主人と23歳で結婚。その後、早期退職したご主人と約40年前に開いたのが「ひつじ書房」。良書と呼ばれる本を数多くそろえてきました。数年前にご主人が他界してからは、一人で書店を切り盛りする毎日。

健康の秘訣は「体のどこかに違和感があれば、すぐに受診することと“食”」。手づくりを心がけ「いりこ」を素揚げして、ゴマと七味唐辛子をまぶす。自家製の梅酒といただくと美味しいのよ」と、骨粗鬆症予防のレシピも教えていただきました。



みんな大好き 季節の人気メニュー

芋もち



ふんわりと柔らかな芋もちは、お腹のもちもよく、食物繊維もたっぷり。

就学前の子どもたち約100人が通う「青谷愛児園」。旬の食材を使った、週3日の手づくりおやつは、子どもたちに大人気です。「ご家庭での和食離れが気になっているので、園の食事やおやつは和食を中心にしています」と栄養士の山本夕子さん。

みんなが大好きな「芋もち」。作り方のコツは、サツマイモが柔らかくなり過ぎる前におもちを入れ、よく混ぜること。冬のおやつにピッタリですね。

- 材料**
- ・サツマイモ……………150g
 - ・丸もち……………2個(100g程度)
 - ・砂糖……………大さじ1~2(お好みの甘さで)
 - ・塩……………少々
 - ・きな粉……………適宜

- 作り方**
1. サツマイモの皮をむき、1センチの輪切りにしてゆでる。イモが柔らかくなったらもちを入れ、さらにゆでる。
 2. イモともちが柔らかくなったら水を捨てる。
 3. 2に砂糖と塩少々を加え、すりこ木などでついて混ぜる。
 4. よく混ぜたら、水でぬらしたスプーンや手でまるめ、きな粉をまぶす。

紹介者 青谷愛児園



〒657-0805 神戸市灘区青谷町2-1-9

兵庫県ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中における万が一の場合に備えてご加入をおすすめします。

本制度は年間16万人を超える皆さまにご利用いただいておりますので、ボランティア活動に従事される際には、ぜひ本制度へご加入ください。

本制度の特徴

1名 500 円でご加入いただけます。

※「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」の場合。



【お問い合わせ】

神戸市社会福祉協議会
ボランティア情報センター
TEL:078-271-5306

【取扱代理店】

㈱兵庫福祉保険サービス
TEL:078-735-0166

【引受保険会社】

三井住友海上火災保険㈱
神戸支店 神戸法人営業課
TEL:078-331-8502



美味しい! かわいい! 福祉のお店



豊富なメニューを 心なごむ空間で

コーヒーハウス YUME(ゆめ)

モーニング、ランチ、カフェタイム、それぞれに豊富なメニューがそろっているのがうれしいコーヒーハウス YUME。NPO 法人ドリム& YUME 作業所が運営する就労支援B型の事業所です。

理事長の小出美子さんは、元精神科の看護師。「患者さんたちは、驚くほど心のきれいな方ばかり。そのやさしさにふれ『この人たちのために何かしたい』と思い、社会とのつながりが育てられる場をつくりました」と設立のきっかけを話します。

お弁当の宅配事業、お菓子作りと販売、希望の職種に就けるよう訓練をする就労移行支援も行っており「次は、焼き立てのパンを売るお店を」と夢は広がります。



お菓子のアトリエ「ゆめ」でつくった手づくりクッキーは100円で販売しています



青いテントが目印。コンサートなどのイベントも随時開催



ランチタイムは11時半～。日替わりランチ600円(取材日はチキンカレー)



定番ランチは650円。照り焼きチキンがハンバーグを選べます



日替わりおやつセット 飲み物代プラス日替わりケーキ100円～

住 所 神戸市兵庫区湊川町3-5-6

T E L 078-577-0277

F A X 078-203-5283

営業時間 午前9時半～午後4時

定休日 土・日・祝日

ホームページ [Q コーヒーハウス YUME](#) 検索

個性が光る 小物たち

shop 小春日和(ショップこはるびより)

山陽電鉄須磨寺駅のすぐ浜側。shop 小春日和は、白い外観が目をお洒落な雑貨屋さん。

店内には、NPO 法人萌友 - for you (ほうゆう) が運営する就労支援B型のアトリエで作られた刺し子や、さをり織の製品をはじめ、手作り作家や作業所の商品が並びます。

お店の近くにある作業所では、なごやかな雰囲気の中、17名の女性たちが心を込めて針仕事をしています。「お客様に『買いたい』と思っていただけるよう、センスの良い品をていねいに作るよう心がけています」と所長の東條むつみさん。

自分用はもちろん、プレゼントに購入する方も多いそう。須磨寺界隈のお散歩の途中に、ぜひ訪ねたいお店です。



一針ずつ、ていねいに縫っていきます



白い外観が目印の可愛い雑貨屋さん



店内には心ときめく小物や衣類、雑貨がいっぱい



さをり織 がま口1200円 印鑑ケース1200円



刺し子のポーチ大1500円 がま口800円～ ペンケース1200円

住 所 神戸市須磨区須磨本町1-3-22

TEL & FAX 078-732-6223

営業時間 午前10時～午後5時

定休日 木・日曜

ホームページ [Q shop小春日和](#) 検索

10F 炭火焼 博多水炊き



tel.078-325-1235

10F レストラン&BAR



tel.078-331-1233

9F あぶり工房



tel.078-331-2929

9F 日本料理



tel.078-333-0678

9F イタリア料理



tel.078-331-1122

2F 喫茶



tel.078-391-4057

お食事・各種ご宴会に

Gourmet Promenade
グルメプロムナード
SINCE 1997 IN KOBE

各線三宮駅すぐ 神戸交通センタービル
<http://www.kotsu-center-bldg.com>

催し・イベント情報

催し 福祉教育講演会&「愛の輪ポスター」「福祉体験作文」表彰式

12月15日(日) 13:00～15:50

第一部は「愛の輪ポスター」と「福祉体験作文」の表彰式を。第二部では、プロ野球解説・野球評論家の梨田昌孝氏を講師に招き「長所を活かして個性を伸ばせ!!」をテーマにお話しいただきます。

【場所】神戸文化ホール・中ホール(中央区楠町4-2-2)

【参加費】無料【定員】900人 11月20日(水)締め切り

④⑤ ボランティア情報センター TEL 271-5306



催し 平成25年度 ファミリー・サポート・センター 市民交流会

12月1日(日) 10:00～13:30

人形劇団クラルテの公演のほか、ロビーホールでは「むかしあそび」のブースも展開。会員ファミリーもそうでない方も参加できます。

【場所】神戸市勤労会館7階(中央区雲井通5)【参加費】無料

【定員】100人 11月14日締め切り。多数の場合抽選。

④⑤ 神戸市ファミリー・サポート・センター TEL 271-5545

詳細は<http://www.with-kobe.or.jp/>

講座 知的障がい者見守り活動員養成講座

12月～来年3月 ※詳しい日程はお問い合わせください。

知的障がいのある方を月に1～2回訪問し、見守りをする活動員の養成講座。成年後見制度を含む12講座と施設での実習。70歳まで。

【場所】育成会館4階(長田区御蔵通4-205-2)【参加費】無料

【定員】希望者多数の場合抽選 ④⑤ (一社)神戸市手をつなぐ育成会 TEL 515-5242 11月27日(水)締め切り

講座 こべっこファクトリー ～みんなで作ろう!作業所製品～

12月14日(土) ①13:00 ②13:30

③14:00 ④14:30 ⑤15:00 ⑥15:30

神戸市内の障がい福祉施設で作っている「缶バッジ」「粘土のスイーツ」「ビーズのプレスレット」「フェルトバッグ」を施設のみならずと一緒に作ります。



【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド=中央区東川崎町1-3-1)

【参加費】無料【定員】当日先着順 ④⑤ 同センター TEL 382-1300

催し とっておきのハッピークリスマス

12月23日(月・祝)

こべっこランドのクリスマス!コンサートや「スノーマンのカップケーキ」作り、人形劇など楽しいイベントが盛りだくさんです。



【場所】神戸市総合児童センター(こべっこランド=中央区東川崎町1-3-1)

【参加費】無料【定員】当日先着順 ④⑤ 同センター TEL 382-1300

催し こうべ障害者音楽フェア2013 ジョイフルコンサート

12月23日(月・祝) 14:00～16:00

障がいがある人が和太鼓、ハンドベル、ピアノなど多彩なプログラムを。ゲストとして中国古箏演奏家の伍芳(ウー・ファン)さんを迎えます。

【場所】神戸新聞松方ホール

(中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル4階)

【入場料】1000円

④⑤ こうべ障害者音楽フェア実行委員会事務局 TEL 271-5330



講座 平成25年度 初級障害者スポーツ指導員養成講習会

H26年1月11(土)・12(日)・18(土)・19(日)・25(土) 10:00～17:00

障がいのある方のスポーツ指導者に必要な知識、障がい者スポーツに関する基本的理解を講義、実技で学びます。

【場所】こうべ市民福祉交流センター(中央区磯上通3-1-32)

【参加費】無料(別途教本代2500円、競技規則集代1500円が必要)

【定員】30人 ④⑤ 障害者スポーツ振興センター TEL 271-5330

講座 市民福祉大学 市民福祉セミナー 健康寿命を延ばそう! -若々しく生きる暮らし方とは-

12月11日(水) 13:30～15:00

アンチエイジングの第一人者、米井嘉一先生が、若々しく生きるための暮らし方を伝授。あなたも健康長寿をめざしませんか。

【場所】よみうり神戸ホール(中央区栄町通1-2-10)

【参加費】1000円【定員】200人(抽選) 11月27日(水)締め切り

④⑤ 市民福祉大学 TEL 271-5300

募集 平成26年度 「生駒温子」児童福祉事業助成 事業募集

募集期間 11月18日(月)～12月27日(金)

神戸市内を主な活動拠点とする施設や団体、学校、地域が実施する、市内の児童の福祉増進を目的とする新規もしくは内容を拡充した事業を募集します。事業実施期間は、平成26年4月1日～平成27年3月31日。※複数年事業は3年を限度に助成します。

④⑤ 神戸市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 271-5317

【ご報告】神戸市社会福祉大会を開催しました

9月11日、神戸文化ホール・大ホールで「平成25年度 神戸市社会福祉大会」を開催しました。この大会は、社会福祉関係者が一堂に会して、市民の福祉推進の決意を新たにするとともに、社会福祉事業の功労・奉仕者等の功績を顕彰するものです。大会冊子(受賞者名簿)を本会ホームページに掲載しています。

URL: <http://www.with-kobe.or.jp/>

ご寄付をありがとうございます

神戸市内の福祉向上のため役立てています。

【善意銀行】善意銀行では、金銭・物品のご寄付を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。

(預託の部・金銭口座) みなと銀行従業員組合、匿名6件

(預託の部・物品口座) 南創和ハウジング、兵庫信用金庫

(払出の部・金銭口座) 信愛学園、上野丘学園、神戸市児童養護施設連盟、

兵庫県脳卒中者友の会連合協議会、神戸市老人クラブ連合会、神戸六甲ポータルライオンズクラブ、神愛子供ホーム、神戸市母子福祉たちばな会、神戸真生塾児童家庭支援センター

(払出の部・物品口座) NPO法人てみすの会、特別養護老人ホームロングステージ御影、中央在宅福祉センター、市民福祉大学、誕生日ありがとう運動本部

(敬称略。6月～9月末分。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています)

～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～

※寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます。

人生90年時代をイキイキと送りませんか

生涯いきいき情報センター

社会活動 生涯学習 趣味 就業 を応援します。



「趣味を深めたい」「学びたい」「ボランティアをしたい」「もう少し働きたい」…そんなあなたの思いにお応えします。

三宮・サンバル10階の「生涯いきいき情報センター」が、月1回火曜日に「出張相談」を始めました。

お近くの勤労市民センターにお気軽にお越しください。

専任の相談員が、親切にねいに対応いたします。相談無料。

六甲道勤労市民センター	毎月第1火曜日
兵庫 勤労市民センター	毎月第2火曜日
新長田勤労市民センター	毎月第3火曜日
垂水 勤労市民センター	毎月第4火曜日

※いずれも午前10時～午後4時

お問い合わせ

(公財) 神戸いきいき勤労財団

生涯いきいき情報センター

相談時間

平日 9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始 休み)

場所

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル10階

TEL 078-251-2522 (直通)

プレゼント

アンケートにご協力ください(応募締切:11月25日必着)

「きずな♥KOBÉ」第5号はいかがでしたか?

ご覧になった感想をお寄せください。お寄せくださった方のなかから抽選で下記の商品をプレゼントいたします。

A 神戸 関空ベイ・シャトル 大人(片道)乗船券

神戸空港と関西国際空港の間、24kmを約30分で結ぶ双胴高速船で、一日16往復、32便を運航。両空港とも空港ターミナルと乗り場は連絡バスで結ばれているので便利です。大人(片道)1800円。

3組6名様



B 「プーシキン美術館展 フランス絵画300年」

ロシア・モスクワにある同美術館が誇るフランス絵画コレクションから選りすぐりの66点を紹介。ルノワール、ゴッホ、モネ、ピカソなどの名画が一堂に。神戸市立博物館(中央区京町24)で、12月8日(日)まで。月曜休館。当日一般1500円。

10組20名様



※11月25日応募締め切り後の発送となりますことをご承ください。

ビエール=オーギュスト・ルノワール「ジャンヌ・サマリイの肖像」1877年/油彩、カンヴァス/56×47cm (c)The State Pushkin Museum of Fine Arts, Moscow

C さをり織のトートバッグ

6ページ掲載のshop小春日和の商品。丈夫な帆布に、やさしい色調のさをり織をあしらったトートバッグ(35×45cm 1900円)。タウンにもレジャーにも大活躍してくれそう。

1名様



投稿欄

VOICE

～第4号に寄せて～

- 特集記事を読み、自らの老後の生活を見直したいと思い、未来にはばたく子ども達にできる事は何かを考えさせられました。(Y.Kさん)
- ファミリアのデニムかばん本当に懐かしいです。長年にわたり、人気のかばんを作り続ける藤井茂美さんは素晴らしい方ですね。(K.Kさん)
- 福祉のお店の紹介が楽しみです。近くへ行ったときは寄るようにしています。(S.Kさん)
- わらびもちが美味しそうで、作りたくなりました。(M.Hさん)
- ホーム紹介の広告を見て、親のために見学してみたいと思いました。(N.Aさん)

「きずな♥KOBÉ」では読者の皆様からの投稿を募集しています。応募はプレゼント欄と同じ宛先にどうぞ。掲載者には、記念品を贈らせていただきます。

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所(〒)、電話番号、年齢、性別、職業と希望のプレゼント名、本誌をご覧になったの感想を明記して、下記まで応募ください。当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086

神戸市中央区磯上通3-1-32
神戸市社会福祉協議会

「きずな♥KOBÉ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は平成26年3月発行の予定です。

KOBELCO

神戸製鋼グループが運営する 介護付有料老人ホーム・ドマーニ神戸

(神戸製鋼所85%出資)

緑と潮風が彩る丘陵地に立つ
生活至便な「終のすみか」

垂水区本多聞

ドマーニ神戸
D・MANI
KOBÉ

介護付有料老人ホーム
(一般型特定施設入居者生活介護)

定例見学会実施中

昼食試食、
近隣商業施設・
病院等ミニツアー付

要予約

11月1日(金) 12月6日(金)

【時間】時間[各日とも] 10:30～(各回 定員10名)
【送迎あり】市営地下鉄学園都市駅またはJR垂水駅まで
【参加費】お一人様1,000円(昼食代含む)

ホーム見学会以外での
ご見学、介護居室の
ご相談も随時受付中

(公社)全国有料老人ホーム協会会員・(社)シルバーサービス振興会会員
(社)全国特定施設事業者協議会会員

経営
運営主体



神鋼ケアライフ株式会社

お申込み・お問い合わせは

0120-78-6665
(9:00～17:00)

〒655-0006 神戸市垂水区本多聞3丁目1番37号 TEL.078-787-2600
ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>

くわしくは

ドマーニ神戸

検索をクリック!

きずな♥KOBÉ 第5号
(2013年11月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 広報交流部
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306

監修 広報メディア研究所

「きずな♥KOBÉ」では、企業等の広告を掲載しています。
広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市
社会福祉協議会 広報交流部へ。

神戸市社協広報印刷物登録
平成25年第3-2号 広報印刷規格A-3類

この広報誌は愛の輪運動・赤い羽根共同募金の補助を受けて発行しています。